

OWNER'S MANUAL

トーハツ 軽 4WD 小型消防車 オーナーズマニュアル



デッキバンタイプ
トラックタイプ

OWNER'S
MANUAL

No.003-12095-0



はじめに

このたびはトーハツ軽4WD小型消防車をご購入頂きましてありがとうございます。

ご使用の前に本書を熟読していただき、安全且つ性能を充分に発揮させ、末永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。

なお、本書はトーハツ軽4WD小型消防車の取扱方法を記載しております。可搬消防ポンプの取扱、車、資機材については別途それぞれの取扱説明書をご参照ください。

この取扱説明書は標準仕様をベースに編集いたしました。特別注文等により仕様変更を行った場合には、説明書の内容と一部異なる場合があります。

- ・本消防車は消防活動に使用することを目的とし、消防職員、消防団員、自主防災組織要員、自衛消防組織要員及び可搬消防ポンプ等整備資格者のうち安全使用法に関する教育訓練を受けた方々を取扱い対象者としています。
- ・仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

トーハツ株式会社

おねがい

〈本書について〉

- ・よく読んで理解してください。
- ・紛失、損傷の起きない場所に保管してください。
- ・転売又は譲渡の場合は、本書を新しい所有者に渡してください。

〈保証書について〉

- ・よく読んで理解してください。
- ・紛失、損傷の起きない場所に保管してください。

〈保守・点検について〉

いつでも正常にご使用できます様に定期点検を行ってください。

〈警告に関する表示について〉

操作者や他の人が死亡、重傷又は障害を負う危険性もしくは可能性、そして物的損害の発生が想定される事柄を、3種の重み付け表示を使って記載しております。記載内容はその危険性や回避方法など、安全を確保する上で重要であり遵守願います。



取扱いを誤った場合に死亡又は重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される場合。



取扱いを誤った場合に死亡又は重傷を負う危険性が想定される場合。



取扱いを誤った場合に軽傷又は物的損害の発生が想定される場合。

※各種ラベルの表示が読みにくい、または剥がれそうな場合は、すぐに貼り替えてください。

安全に使用していただきために

1. 全般的な注意事項

- ① 軽 4WD 小型消防車及び可搬消防ポンプの取扱説明書をよく読んでください。
- ② 軽 4WD 小型消防車及び可搬消防ポンプの操作は安全操作技能講習等を受講した人が行ってください。安全操作を守らないと誤使用・誤操作により死亡を含む重大な事故をまねく恐れがあります。
- ③ 日常点検、定期点検を必ず実施してください。点検を怠ると破損等による事故の発生や消火活動に支障が出る恐れがあります。
- ④ 車両は車庫に保管ください。
- ⑤ 車庫に保管時は充電器（オプション）を接続し、バッテリを充電してください。但し、電装品の電源は OFF にして保管ください。
- ⑥ 2 ヶ月に一回は必ず適度な運転を行ってください。

2. 走行前注意事項

- ① 給油はエンジンを停止してから行ってください。
- ② 給油時には火気を近づけないでください。また、静電気対策を行なってください。
- ③ 燃料がこぼれたら直ちに拭き取ってください。
- ④ 給油後は燃料タンクのキャップをしっかりと締めてください。
- ⑤ 資機材は指定された場所に積載し、許容荷重の範囲で積載してください。
- ⑥ 下記により車両重量バランスが変化するので注意をしてください。
 - ・乗員人数および乗車位置
 - ・消防ホースの積載位置
- ⑦ 収納ボックス等が装備されている場合は、走行前に収納ボックス等の扉が閉まっていることを確認してください。
- ⑧ トラックタイプの場合、ステップ等に乗るときは必ず手すり等を利用してください。

安全に使用していただきために

- ⑨ 装着・脱着以外で資機材等をつかまないでください。守らないとケガをする恐れがあります。
- ⑩ 可搬消防ポンプ、資機材の固定を確認してください。
- ⑪ 緊急灯の作動を確認してください。
- ⑫ 本車両の主要諸元は、**②仕様項（シャシスペック）**を確認してください。

3. 走行中に関する注意事項

- ① 走行中は定められた位置に乗車してください。
- ② 走行中（特にポンプ積載時）は不要な急ブレーキ、急発進、急ハンドルを行わないでください。

4. ポンプ運転時の注意事項

- ① 車両は枯れ草等可燃物がある場所には設置しないでください。火災の発生する恐れがあります。
- ② 換気の悪い場所やトンネル内等に設置しないでください。排気ガス中毒になる恐れがあります。
- ③ 車両のエンジンは必ず停止し、駐車ブレーキを確実にかけてください。
- ④ 車輪止めを行って車両の自走防止をしてください。
- ⑤ ステップ等に乗る際に資機材等をつかまないでください。守らないとケガをする恐れがあります。
- ⑥ 急なスロットル操作、放水・吸水等の操作は行わないでください。
- ⑦ 可搬消防ポンプへの燃料給油はエンジンを停止してから行ってください。
- ⑧ 給油時には火気を近づけないでください。また、静電気対策を行ってください。
- ⑨ 燃料がこぼれたら直ちに拭き取ってください。
- ⑩ 燃料給油後は燃料タンクのキャップをしっかりと締めてください。
- ⑪ 運転中はエンジン、マフラー等の高熱部分に触れないでください。

安全に使用していただきために

- ⑫ 回転部分には触れないでください。
- ⑬ 放水しない場合は可搬消防ポンプを低圧にしてエンジンを停止してください。
- ⑭ 吸水しない状態での運転（空運転）を続けないでください。オーバーヒートや部品が破損する恐れがあります。
- ⑮ 放水口は必ず可搬消防ポンプを低圧にしてから開閉してください。
- ⑯ 消防用ホースの接続を確認してから放水口を開いてください。
- ⑰ 電装部品に水をかけないでください。
- ⑱ 消火活動終了後は排水を完全に行ってください

5. 可搬消防ポンプ整備点検時の注意事項

- ① 可搬消防ポンプの点検整備をするときは、安全を確保してください。
- ② バッテリの電解液は強酸性物ですので、体や衣服等につけないでください。ついた場合は直ちに水で洗ってください。

6. 可搬消防ポンプを単体として使用する場合の注意事項

軽4WD 小型消防車が地理的要因又は消防車進入不可能な状況に遭遇した場合、可搬消防ポンプを車体から取り外して、従来の可搬消防ポンプとして消火活動に従事することができます。可搬消防ポンプの車体からの積み降ろしに関しては、③積載装置を参照してください。

安全に使用していただくために

取扱上の注意

安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

- ・ 「トーハツ可搬消防ポンプ オーナーズマニュアル」に従って取扱を行ってください。
- ・ リフト及び引出レールを使用する際は、平坦な場所に車両を停止してから使用してください。急な坂道や傾斜地などで使用するとリフトが作動しないことがあります。また、リフトが不安定になり積載物が落下する恐れがあります。車両が後ろ下がり傾斜の場合、リフト引き出し操作時にスライドが加速して出て来て事故につながる恐れがあります。
- ・ 換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。この状態で使用した場合、排気ガスにより中毒や窒息の恐れがあります。
- ・ リフト及びレール使用前に車両の駐車ブレーキが確実に掛かっていることを確認してください。駐車ブレーキが掛かっていないと車両が予期せぬ動きをして重大な事故につながる恐れがあります。
- ・ リフト及びレール使用時にはリフト本体や車両を揺らさないでください。積載物が落下して重大な事故につながる恐れがあります。
- ・ リフト左側面（車両進行方向の左）の安全な位置でリフトの操作をしてください。リフトの正面で操作をすると動くリフトに接触して重大な事故につながる恐れがあります。また、リフトの右側で操作すると操作スイッチのコードが巻き込まれる恐れがあります。
- ・ リフト操作時は周囲の安全を確かめ、積載物の「接触」や「はさまれ」などに注意してください。特に路上で操作する場合は、あらかじめ停止表示板や停止表示灯により後続車に注意を促してください。

安全に使用していただくために

- ・車両のバッテリが消耗してくるとリフトの作動が遅くなることがあります。その際はバッテリを充電するか交換してください。
- ・リフト及びレールを引き出した状態で車両を走行しないでください。重大な事故につながる恐れがあります。
- ・リフト及びレール使用後は必ずリフトのロックをかけてください。ロックを掛けないと不意にリフトが動いて重大な事故につながる恐れがあります。

▲ 警 告

- ・テーブルロックレバーのロックが不完全の場合、可搬消防ポンプがテーブルと一緒に急速に滑り落ちケガの危険があります。
- ・テーブルロックレバーがロックされたことを確認してから、可搬消防ポンプから手を放してください。

▲ 注 意

可搬消防ポンプを降ろす場合は特に注意してください。可搬消防ポンプが突然レールを滑りおりてきてケガの危険があります。

- ・可搬消防ポンプをおろす場合にはポンプ引出レールの外側の左右に立ち、必ず2～4人で行ってください。
- ・ポンプ引出レールに乗らないでください。
- ・ポンプ引出レールに足をかけたり、手などを触れないでください。

目 次

[1]	特長	1
[2]	仕様	4
1.	デッキバンタイプ	4
2.	トラックタイプ	7
[3]	積載装置	1 1
1.	水平式レール	1 1
2.	傾斜式レール	1 4
3.	リフト 手動装置 THL-2B	2 1
4.	リフト 電動油圧装置 TWL-2A (オプション)	2 5
[4]	電装品	3 3
1.	散光式警光灯	3 3
2.	電子サイレンアンプ	3 3
[5]	装備品	3 4
[6]	注意点	4 3
[7]	可搬消防ポンプの固定及び積載位置	4 4
[8]	日常の保守	4 6
[9]	識別	4 8

1 特 長

1. デッキバンタイプ

- ・ 狹い道や悪路に強い地域防災型で、住宅密集地から山間部まで日本の道路に適したサイズです。
- ・ ハイルーフ仕様で室内にヘルメットを装備した4名が乗車可能です。風雨や寒暖等による体力消耗を防ぎ、消火活動に集中出来ます。

可搬消防ポンプ積載装置

- ・ 傾斜式引き出しレール（標準）

積み降ろし容易な位置まで手動で操作出来ます。



- ・ TWL-2A（オプション）

電動式のアーム型伸縮装置で、可搬消防ポンプを地上までの間で昇降可能。

12V仕様、全長950mm、最大昇降ストローク500mm、手動昇降装置付きです。

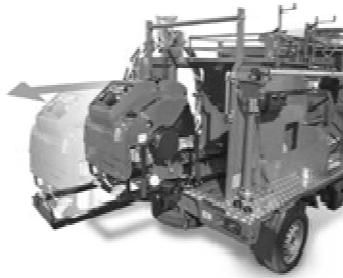


2. トラックタイプ

- ・ 消火活動に必要な機能をコンパクトボディに凝縮したスタンダードモデルです。
- ・ 消防車用に足回りを強化した特殊シャシをベースに、四輪の荷重バランスを考慮したレイアウトです。

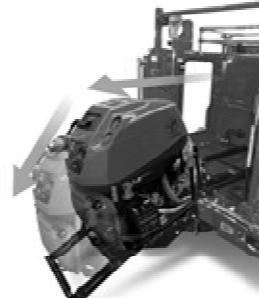
可搬消防ポンプ積載装置

- ・ 水平式引き出しレール（標準）
積み降ろし容易な位置まで手動
で操作できます。



3. 可搬消防ポンプ積載装置

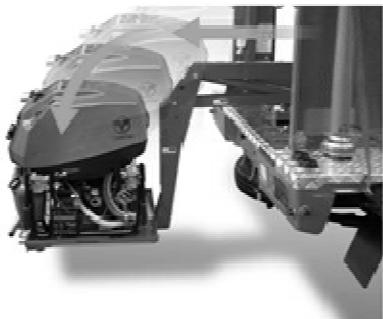
- 水平引出レール（標準）
積み降ろし容易な位置まで手動式で操作出来ます。
- 傾斜式引き出しレール（オプション）
積み降ろし容易な位置まで手動で引き出し、可搬消防ポンプを降ろしやすいように傾斜します。



- THL-1B（オプション）
手動油圧式昇降装置
手動で引き出し、油圧を解除することでスムーズに下がり、可搬消防ポンプを降ろすことが出来ます。
手動で油圧ポンプを操作し、可搬消防ポンプを上昇させることができます。

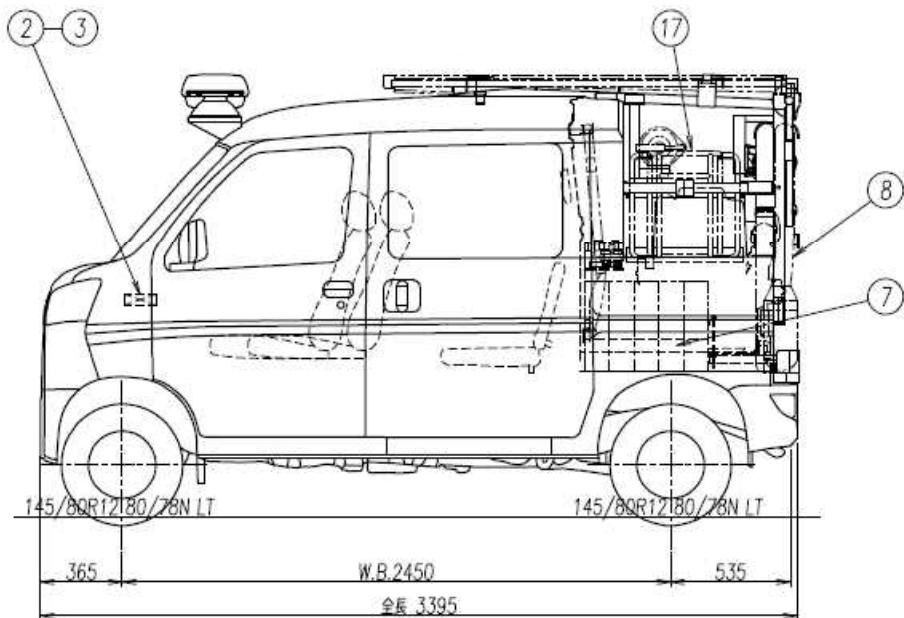
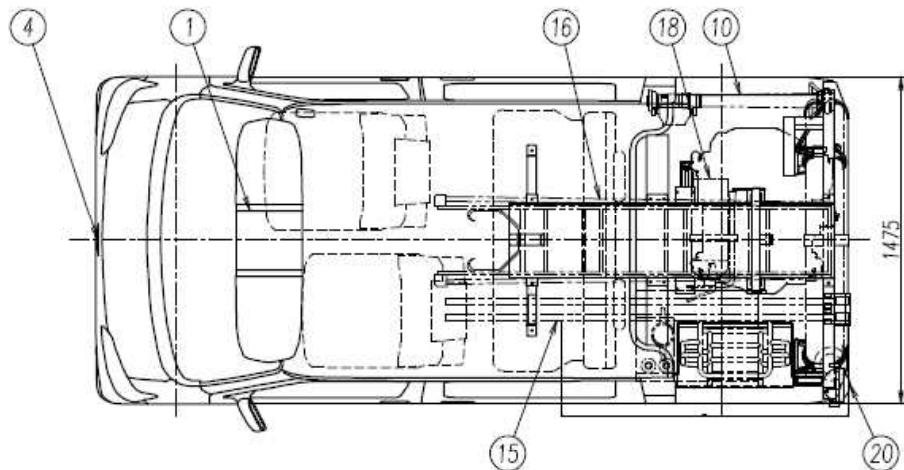


- TWL-2A（オプション）
手動でレールを引出した後、電動式のアーム型伸縮装置で可搬消防ポンプを地上までの間で昇降可能。
12V仕様、全長950mm、最大昇降ストローク500mm、手動昇降装置付きです。

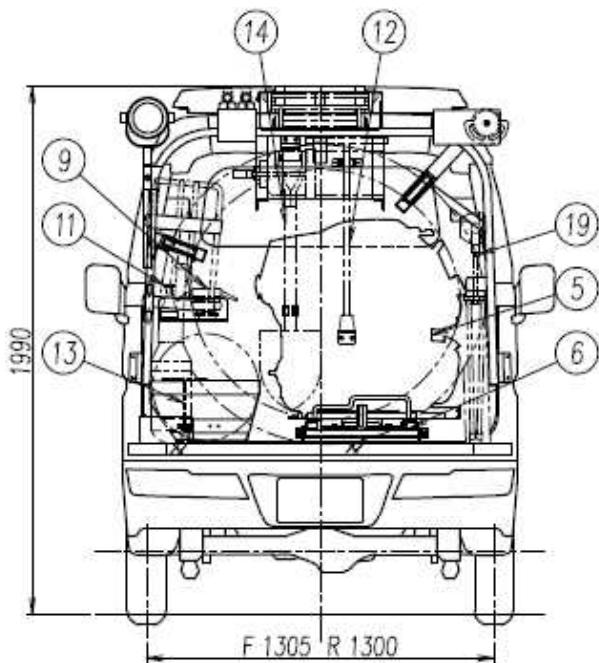


2 仕様

1. デッキバンタイプ



2 仕様



2 仕様

シャシスペック

シャシ	トランスミッション (AT)	ダイハツ3BD-S331W-ZQRF
	トランスミッション (MT)	ダイハツ3BD-S331W-ZMRF
出力	トランスミッション (AT)	39 kW 7,200 r/min
	トランスミッション (MT)	34 kW 5,700 r/min
車両重量	トランスミッション (AT)	1,260 kg *
	トランスミッション (MT)	1,240 kg *
排気量		658 ml
駆動		後輪駆動(パートタイム4WD)
定員		4名

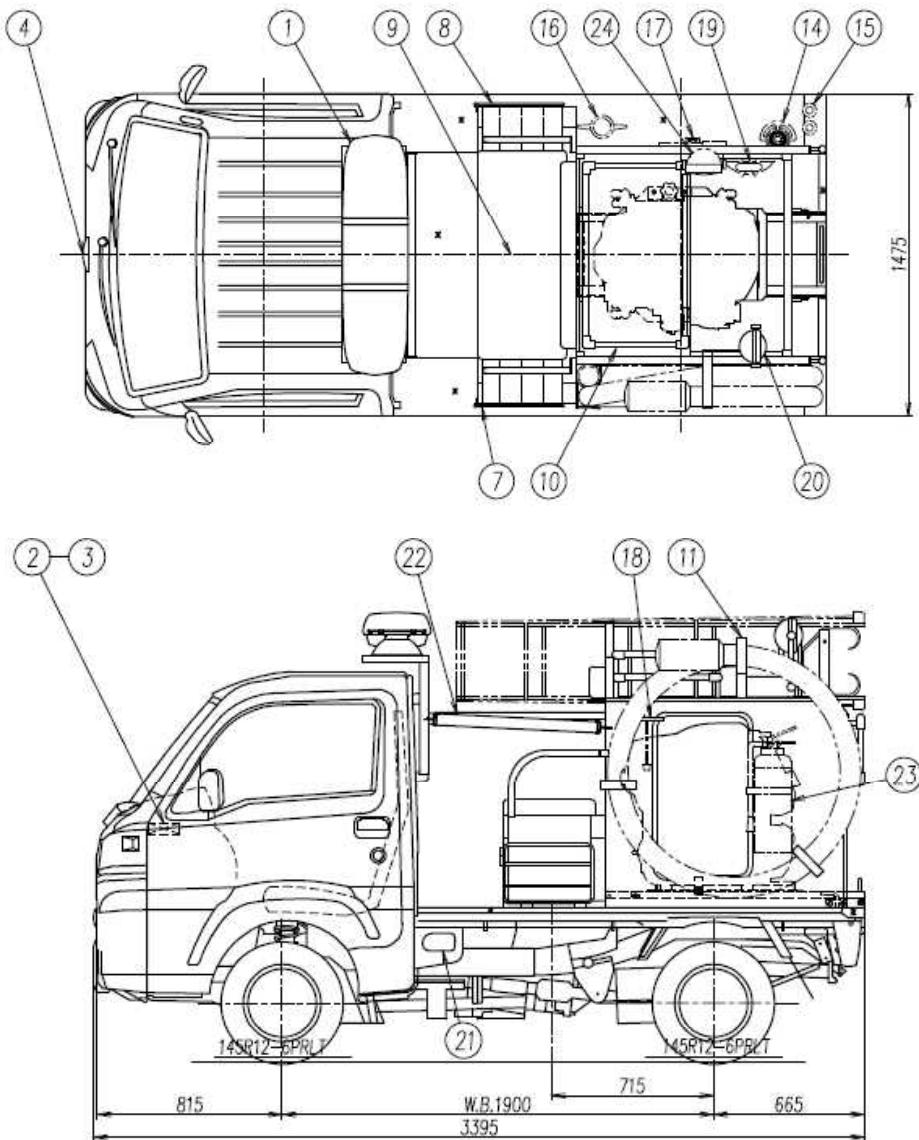
*お客様の装備内容にて重量は変動します。

標準艤装および取付装置（資機材は含まない）

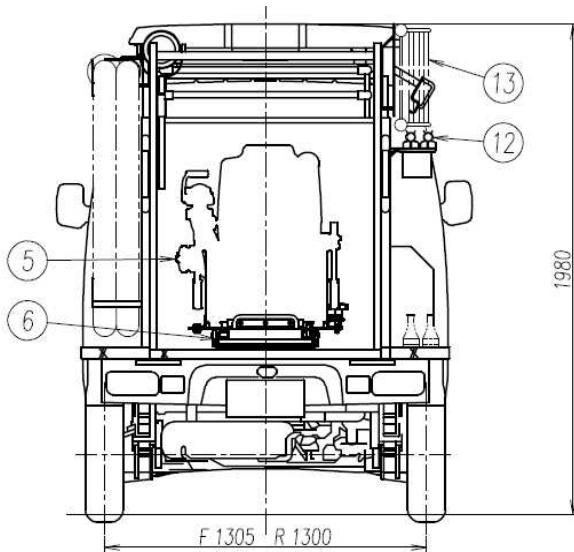
No	艤装内容/取付品名	仕様/備考	員数
1	散光式警光灯	AZS-M1LYFR-RR-5IN	1
		標識灯・ドライバユニット内蔵	
2	電子サイレンアンプ	SAP-520FB	1
3	ダイナミックマイクロホン	SDM-09	1
4	団(署)マーク	デカール	1
5	可搬消防ポンプ	トーハツ製 (D級～B級)	1
6	可搬消防ポンプ積載装置	傾斜引出レール	1
7	ホースラック	(呼 65×20m) 5本用	1
8	吸水管取付装置	呼 75(65)×6m 用	1
9	消火栓媒介金具取付装置	75ネジメス×65マチメス用	1
10	管鎗取付装置	噴霧ノズル取付け状態、全高780mm以下	1
11	スムースノズル取付装置	規格・高圧ノズル用	2
12	地下式消火栓開閉金具取付装置	全高800mm、ボックス幅50mm以下用	1
13	マンホールキー取付装置	当社指定品	1
14	剣先スコップ取付装置	当社指定品	1
15	とび口取付装置	1.8m 用	2
16	梯子取付装置	全長3.6m2つ折り関東梯子用	1
17	背負器取付装置	当社指定品	1
18	消火器	オプションお客様先指定、10型もしくは20型	1
19	投光器取付装置	オプション 当社指定品	1
20	サーチライト	DC12V-45Wハロゲン球	1

2 仕様

2. トラックタイプ



2 仕様



シャシスペック

シャシ	トランスミッション (AT)	ダイハツ3BD-S510P-TQRF
	トランスミッション (MT)	ダイハツ3BD-S510P-TMRF
出力	トランスミッション (AT)	39 kW 7,200 r/min
	トランスミッション (MT)	34 kW 5,700 r/min
車両重量	トランスミッション (AT)	1,220 kg *
	トランスミッション (MT)	1,220 kg *
排気量		658 ml
駆動		後輪駆動(パートタイム4WD)
定員		4名

* お客様の装備内容にて重量は変動します。

2 仕様

標準艤装および取付装置（資機材は含まない）

No	艤装内容/取付品名	仕様/備考	員数
1	散光式警光灯	AZS-M1LYFR-RR-51N	1
		標識灯・ドライバユニット内蔵	
2	電子サイレンアンプ	SAP-520FB	1
3	ダイナミックマイクロホン	SDM-09	1
4	団(署)マーク	プラスチック	1
5	可搬消防ポンプ	トーハツ製 (D級～B級)	1
6	可搬消防ポンプ積載装置	水平引出レール	1
7	ホースラック(左)	開閉式 呼 65×20m 3本用	1
8	ホースラック(右)	開閉式 呼 65×20m 3本用	1
9	補助椅子(シート・ルト付)	2名乗車	1
10	ホースラック(上)	呼 65×20m 7本用	1
11	吸水管取付装置	呼 75(65)×6m用	1
12	とび口取付装置	1.8m用	2
13	梯子取付装置	全長3.6m2つ折り関東梯子用	1
14	管鎗取付装置	噴霧ノズルを取付け状態で全高780mm以下	1
15	スムースノズル取付装置	規格・高圧ノズル用	2
16	消火栓媒介金具取付装置	75ネジメス×65マチメス用	1
17	地下式消火栓開閉金具取付装置	全高800mm、ボックス幅50mm以下用	1
18	マンホールキー取付装置	当社指定品	1
19	剣先スコップ取付装置	当社指定品	1
20	サーチライト	当社指定品	1
21	乗降用ステップ	当社指定品	1
22	転落防止ベルト	当社指定品	2
23	消火器	オプション お客様指定 10型もしくは20型	1
24	投光器取付装置	オプション 当社指定	1

2 仕 様



警 告

軽4WD小型消防車走行中に吸水管、管鎗、とび口、梯子、スコップ等の取付資機材が脱落すると、人的・物的事故の危険があります。

取付資機材は確実に取り付けてください。また、取付装置の機能が低下している場合は資機材を取付けず、速やかに取付装置を修理（もしくは交換）してください。

3 積載装置

可搬消防ポンプ積載装置

1. 水平式レール

1-1 可搬消防ポンプの引出し

1-1-1 可搬消防ポンプのエンジンを停止した状態にしてください。

1-1-2 吸水管、放水ホースが可搬消防ポンプに装着されている場合は、ポンプから外してください。

1-1-3 排水パイプ及びバキュームパイプは排水誘導管から外してください。

1-1-4 ポンプレールストッパピンを引き抜いてください。

1-1-5 ポンプレールハンドルをしっかりと握り、ゆっくり引き出してください。



⚠ 危険

引き出した状態で可搬消防ポンプの運転を行わないでください。

⚠ 注意

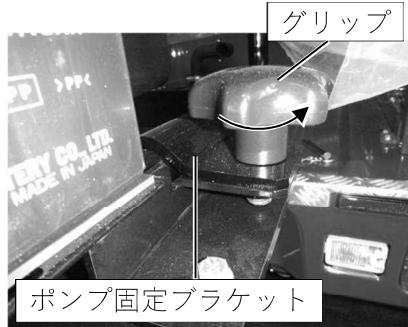
車両が水平でないとレール破損、可搬消防ポンプ落下等の事故が発生する恐れがあります。車両が水平な状態で行ってください。

3 積載装置

1-2 可搬消防ポンプの取出し



1-2-1 ポンプ固定ブラケットの固定
グリップを緩めて、ブラケットを外し、可搬消防ポンプをテーブルから降ろしてください。



注 意

積載装置による可搬消防ポンプの揚げ降ろしする場合は以下に注意してください。

- ・ 可搬消防ポンプをおろす場合には可搬消防ポンプ引出レールの外側の左右に立ち、必ず2～4人で行ってください。
- ・ ポンプ引出レールに乗らないでください。
- ・ ポンプ引出レールに足をかけたり、手などを触れないでください。
- ・ 車台への可搬消防ポンプ取り付け時は、各ロックを確実に行ってください。

3 積載装置

1-3 可搬消防ポンプの搭載

1-3-1 可搬消防ポンプをテーブルに載せてください。



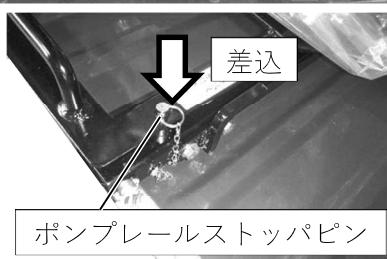
1-3-2 ポンプ固定ブラケットの固定グリップを締めて、ブラケットで可搬消防ポンプをテーブルに固定してください。

1-4 可搬消防ポンプの格納

1-4-1 ポンプレールハンドルをしっかりと握り、ゆっくり押し込んでください。



1-4-2 ポンプレールストッパピンを確実に差し込んで、ポンプテーブルとポンプレールを固定してください。



3 積載装置

2. 傾斜式レール

デッキバン：標準

トラック：オプション

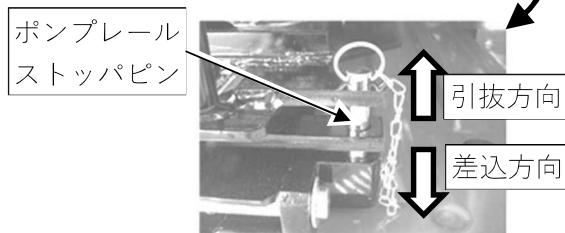
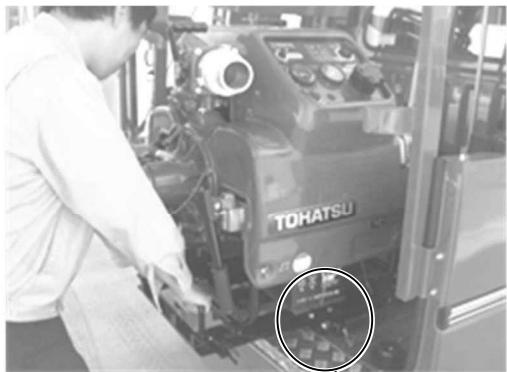
2-1 可搬消防ポンプの引出し

2-1-1 可搬消防ポンプのエンジンを停止した状態にしてください。

2-1-2 吸水管、放水ホースが可搬消防ポンプに装着されている場合は、ポンプから外してください。

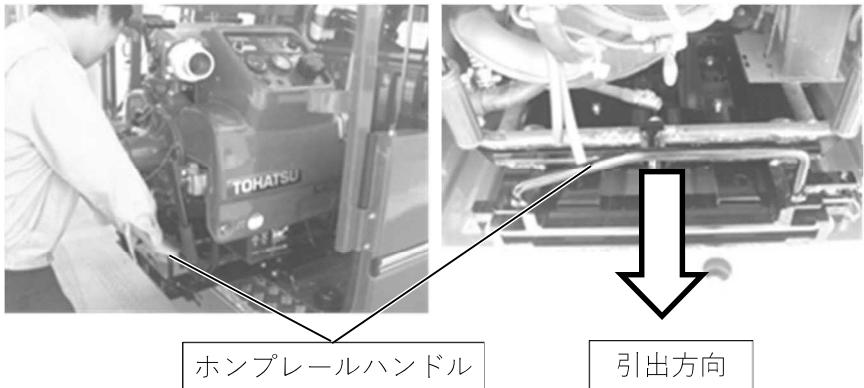
2-1-3 排水パイプ及びバキュームパイプは排水誘導管より外してください。

2-1-4 ポンプレールストッパピンを引き抜いてください。



3 積載装置

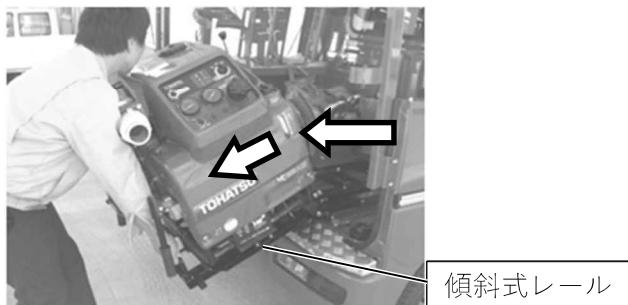
2-1-5 ポンプレールハンドルをしっかりと握り、ゆっくり引き出してください。



⚠ 注意

傾斜式レールの場合、途中からレールが傾斜しますので注意してください。また、車両が水平でないとレール破損、可搬消防ポンプ落下などの事故が発生する恐れがあります。車両が水平な状態で行ってください。

2-1-6 レールを確実に引き出してください。



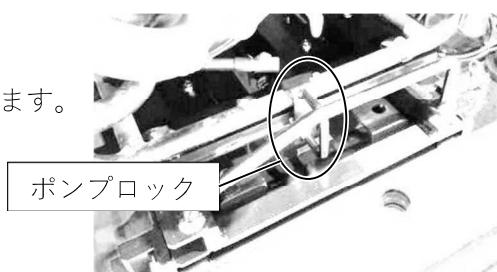
⚠ 危険

引き出した状態で可搬消防ポンプの運転を行わないでください。

3 積載装置

2-2 可搬消防ポンプの取出し

2-2-1 ポンプロックを解除します。



2-2-2 ポンプロックレバーを引きます。



2-2-3 ポンプロックレバーを引いたまま回します。

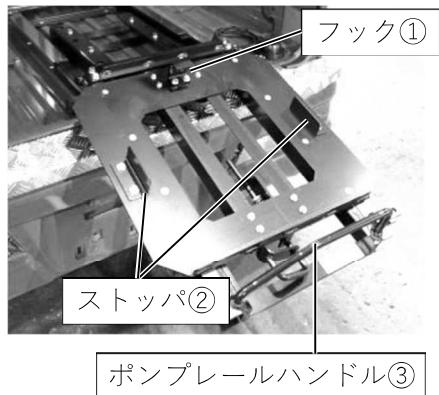


2-2-4 ポンプロックレバーをポンプ側に押し戻し、ロックを解除した状態にします。



3 積載装置

2-2-5 ポンプハンドルを持ち上げ、ポンプをテーブルのフック①、及び可搬消防ポンプ固定用ストッパ②、ポンプレールハンドル③をかわして降ろしてください。



3 積載装置

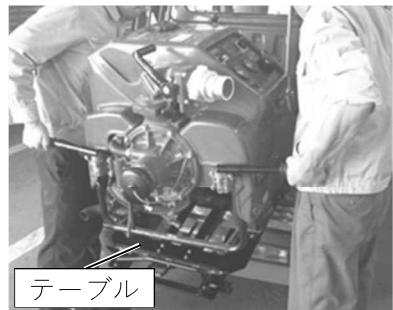
2-3 可搬消防ポンプの搭載

2-3-1 ポンプをテーブルにゆっくり載せてください。



注 意

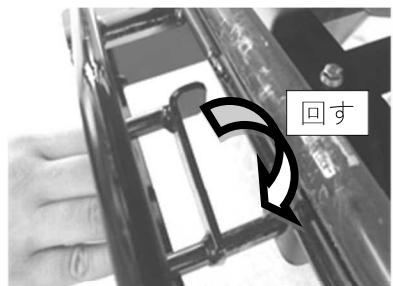
ポンプをストッパに沿って置き、フックに確実にかけて定位置に設置してください。



2-3-2 ポンプロックレバーを引きます。



2-3-3 ポンプロックレバーを引いたまま回します。



3 積載装置

2-3-4 ポンプロックレバーを可搬消防ポンプ側に押し、ポンプフレームをロックします。

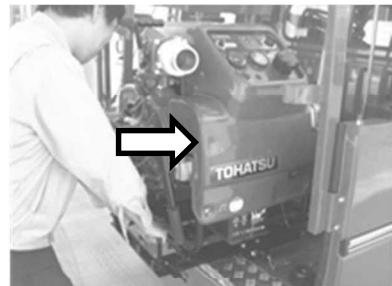
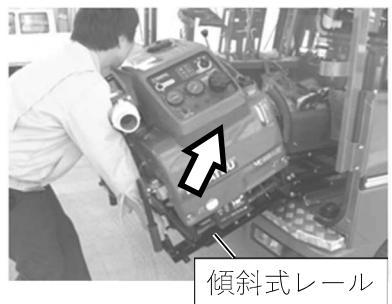
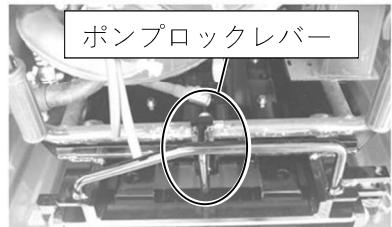


警 告

確実にロックしてください。ロックが確実でない場合、可搬消防ポンプが脱落するおそれがあります。

2-4 可搬消防ポンプの格納

2-4-1 可搬消防ポンプを格納する際は、可搬消防ポンプ積載レールを持上げる様にしてゆっくりと押し込み、ポンプレールストッパピンを確実に差し込んでください。

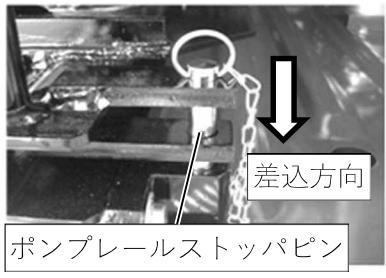


3 積載装置

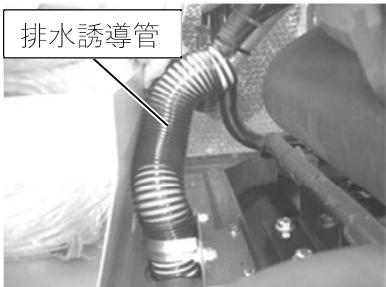


警 告

確実にポンプレールストッパピンを差込み、積載レールを固定してください。



2-4-2 可搬消防ポンプ格納後、排水パイプ及びバキュームパイプを排水誘導管に差し込んでください。



3 積載装置

3. リフト 手動装置 THL-2B

* トラックタイプのみのオプション

3-1 可搬消防ポンプの引出し

3-1-1 可搬消防ポンプのエンジンを停止状態にしてください。

3-1-2 吸水管、放水ホースが可搬消防ポンプに装着されている場合は、ポンプから外してください。

3-1-3 排水パイプ及びバキュームパイプを排水誘導管から外してください。

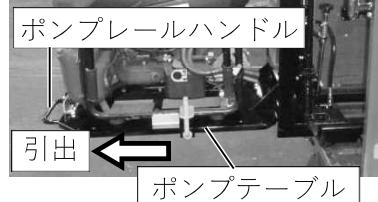
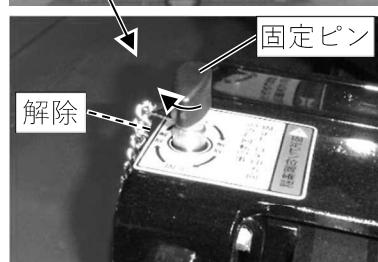
3-1-4 固定ピンをラベルにある指示通りに矢印の方向に解除位置まで回し、固定ピンを抜いてください。

3-1-5 ポンプレールハンドルを持ってポンプテーブルを停止位置まで引き出してください。



警 告

急激なスライド操作は危険ですので、絶対に行なわないでください。



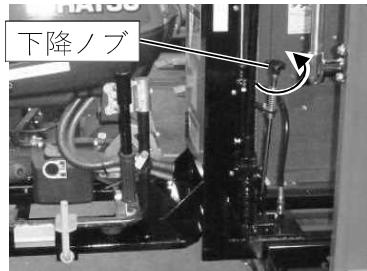
3 積載装置

3-2 可搬消防ポンプの取出し

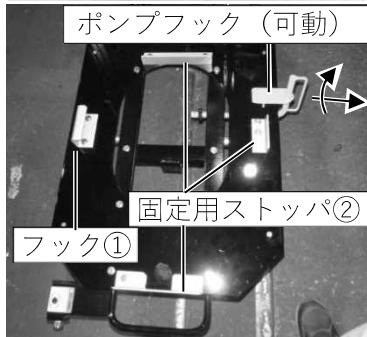
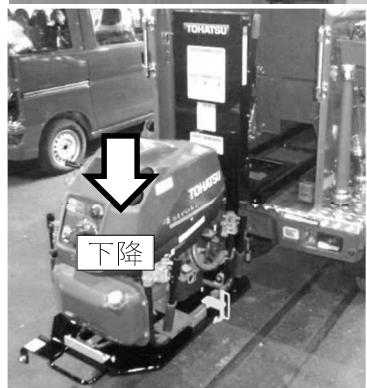
3-2-1 テーブルとテーブル左奥にある固定ピン受けへのピンの向きに注意し「パチン」と感触があるまで固定ピンを差し込んでください。



3-2-2 昇降装置の下降ノブをゆっくり回し、ポンプテーブルを下降させてください。



3-2-3 ポンプフック（可動）を解除し（引いて回す）、ポンプをテーブルのフック①、及び可搬消防ポンプ固定用ストッパ②をかわして降ろしてください。



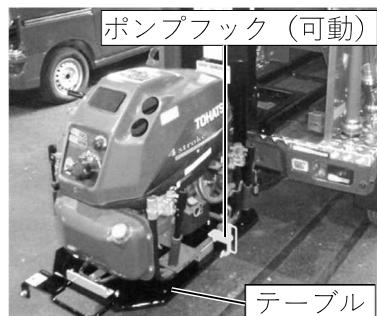
3 積載装置

3-3 可搬消防ポンプの搭載

3-3-1 可搬消防ポンプをフック①にかけ、テーブルのストップ位置②に合わせて、ゆっくり載せてください。(ポンプフック(可動)を、かわしてください。)

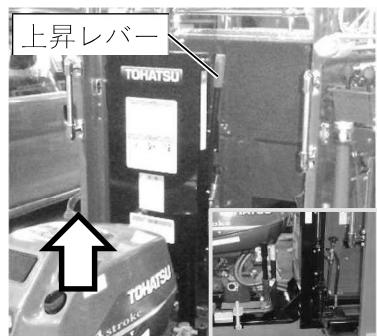


3-3-2 ポンプフック(可動)をかけて可搬消防ポンプを固定してください。

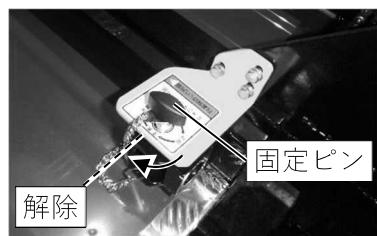


3-4 可搬消防ポンプの格納

3-4-1 昇降装置の上昇レバーを数回動かし、ポンプテーブルを正規の位置まで上昇させてください。



3-4-2 ポンプテーブル固定ピンをラベルにある指示通りに解除位置まで回し、固定ピンを抜いてください。



3 積載装置

3-4-3 ポンプレールハンドルを持ってポンプテーブルを停止位置まで押し込んでください。

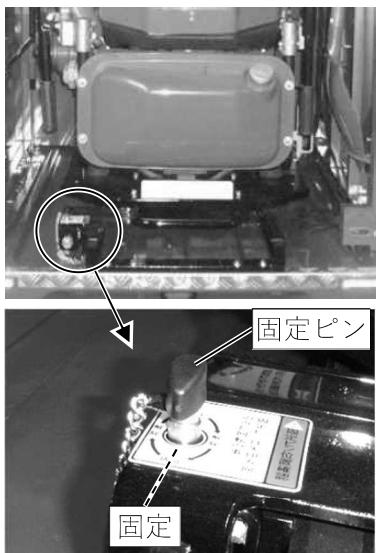


警 告

急激なスライド操作は危険ですので、絶対に行なわないでください。



3-4-4 ポンプテーブル固定ピンを固定ピン受けへピンの向きに注意して「パチン」と感触があるまで固定ピンを差し込んでください。



3 積載装置

4. リフト 電動油圧装置 TWL-2A (オプション)

油圧装置については、専用の取扱説明書がありますので、必ずお読みください。

4-1 可搬消防ポンプの引き出し方

4-1-1 可搬消防ポンプのエンジンを停止状態にしてください。

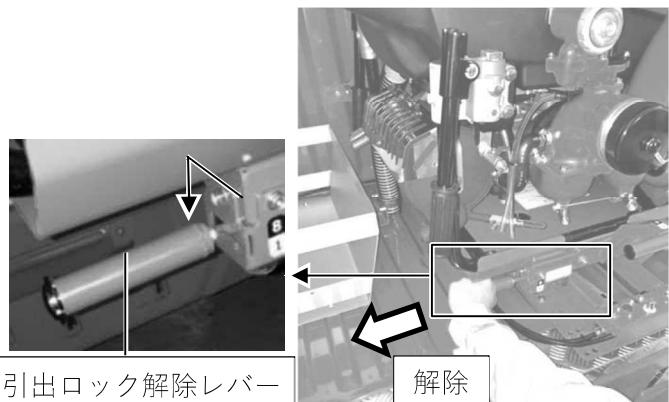
4-1-2 吸水管、放水ホースが可搬消防ポンプに装着されている場合は、ポンプから外してください。

4-1-3 排水パイプ及びバキュームパイプを排水誘導管から外してください。

4-1-4 テーブル引出口ロック解除レバーを引いた状態で、ガイド穴に沿ってレバーを動かしロックを解除してください。



積載条件によりロック解除が不十分になることがあります。この場合は、スライドハンドルを引きながら解除操作を行ってください。

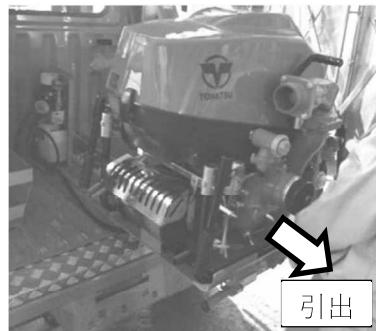
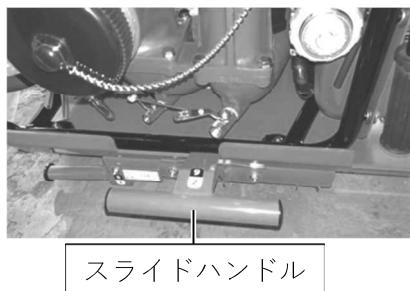


警 告

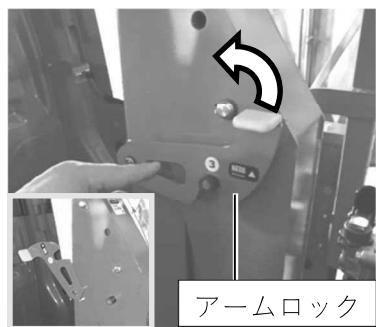
急激なスライド操作は危険ですので、絶対に行なわないでください。

3 積載装置

4-1-5 スライドハンドルを持ってリフト（ポンプ／テーブル）を全ストローク引き出してください。引き出しが完了するとロックが掛かります。



4-1-6 アームロックを後方に反転させてロックを外してください。



4-1-7 リフトを降下させる。

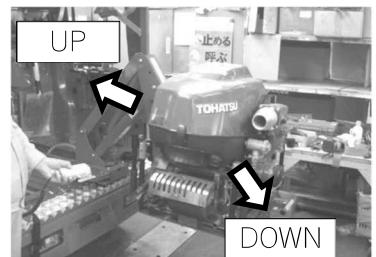
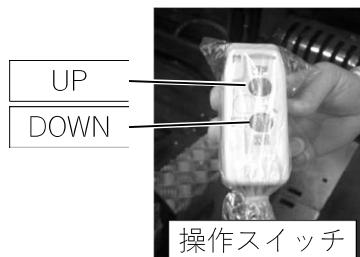
<電動操作>

- 1) バッテリの消耗を防止する為、車のエンジンをかけてください。

危険

換気に注意して車のエンジンをかけてください。

- 2) 操作スイッチの『DOWN』ボタンを押してください。押し続けるとリフトが下降し、自動停止します。

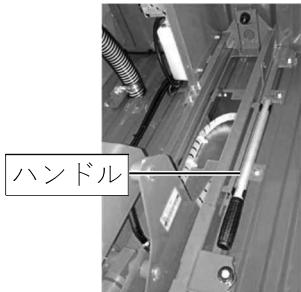


3 積載装置

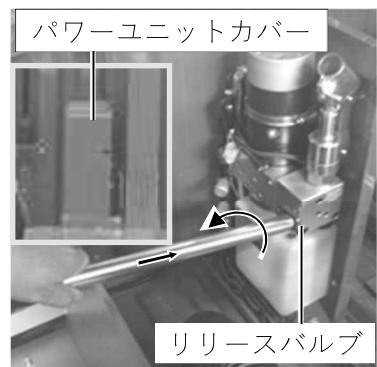
<手動操作>

操作スイッチの『DOWN』ボタンを押してもリフトが降下しない場合は以下の手動操作でリフトを降下させることができます。

- 付属のハンドルを取り外してください。



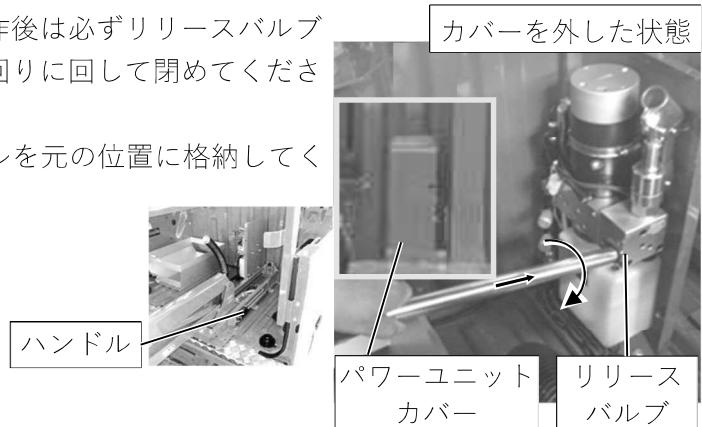
- パワーユニットカバーのサービスホールに付属のハンドルを差し込んで(リリースバルブを)反時計回りにゆっくり回してください。リフトが下降します。



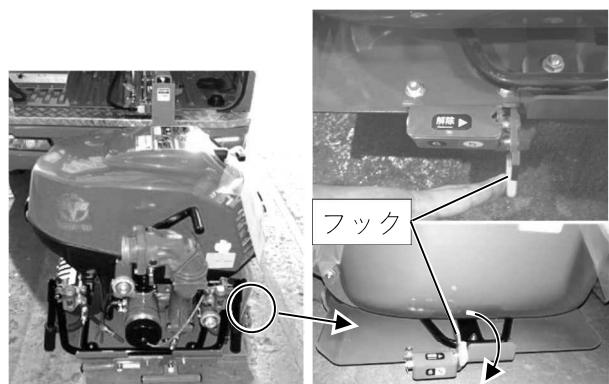
※写真は解説の為、カバーを外した状態です。パワーユニットカバーの外し方はP31を参照してください。

3 積載装置

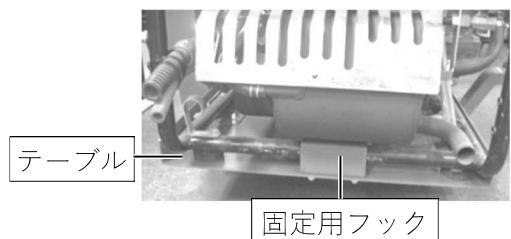
- 3) 下降操作後は必ずリリースバルブを時計回りに回して閉めてください。
- 4) ハンドルを元の位置に格納してください。



- 4-1-8 フックを横にスライド／押し下げて、ポンプの固定を解除してください。



- 4-1-9 ポンプの固定用フック及びストッパーをかわしテーブルから降ろしてください。



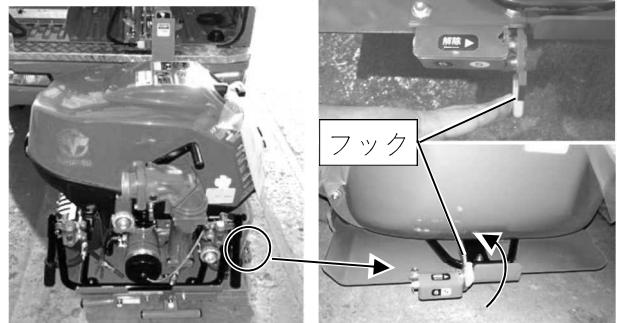
3 積載装置

4-2 可搬消防ポンプの格納の仕方

4-2-1 ポンプを固定用フックにかけてテーブルに設置してください。



4-2-2 フックを横にスライド／押し上げて、ポンプを固定してください。



警 告

フックを確実にかけてください。

3 積載装置

4-2-3 リフトを上昇させる。

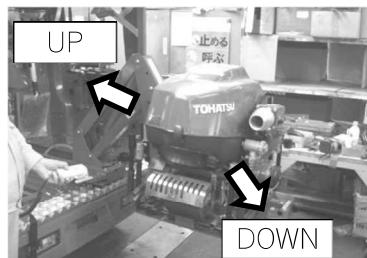
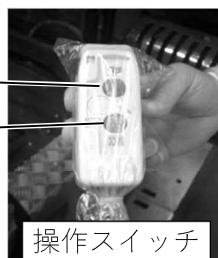
<電動操作>

- 1) バッテリの消耗を防止する為、車のエンジンをかけてください。

⚠ 危険

換気に注意して車のエンジンをかけてください。

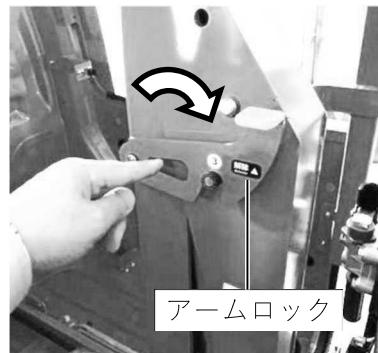
- 2) 操作スイッチの『UP』ボタンを押してください。押し続けるとリフトが上昇し、上昇限でアームロックがかかります。



⚠ 警告

アームロックが掛かっていることを確認してください。

アームロック

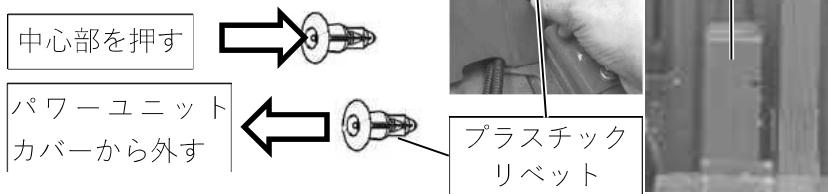


3 積載装置

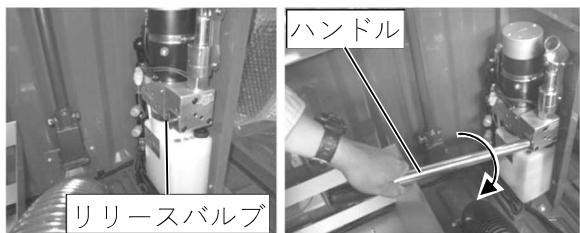
<手動操作>

操作スイッチの『UP』ボタンを押してもリフトが上昇しない場合は以下の手動操作でリフトを上昇させることができます。

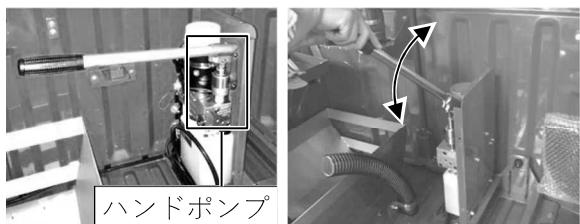
- 1) プラスチックリベットを外してパワーユニットカバーを外します。



- 2) 付属のハンドルをパワーユニットのリリースバルブに差し込んで、時計回りに回して最後まで締めてください。



- 3) ハンドルをパワーユニットのハンドポンプに差し込み、リフト上昇限・アームロックがかかるまでハンドルを上下に繰り返し動かしてリフトを上昇させてください。

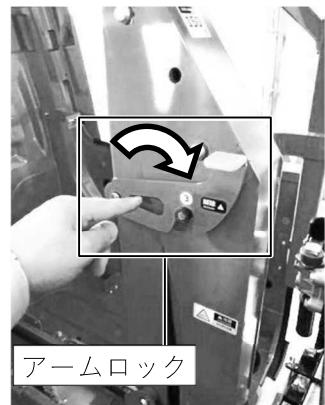


3 積載装置

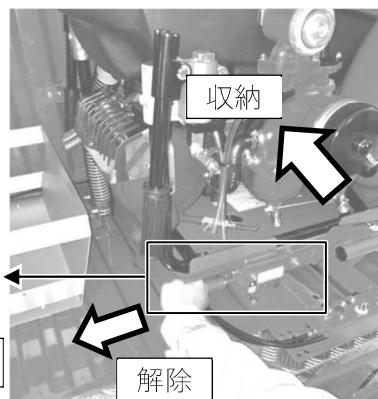
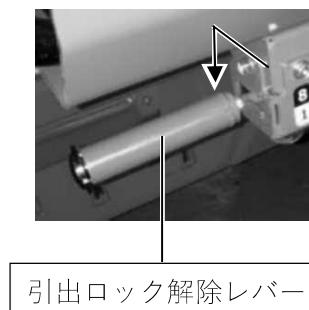


警 告

アームロックが掛かっていることを確認してください。



4-2-4 引出口ロック解除レバーを解除し、テーブルをスライドさせて格納してください。



警 告

収納後はテーブルがロックされていることを確認してください。

4-2-5 ポンプの収納が済みましたら、排水パイプ、及びバキュームパイプを排水誘導管に差し込んでください。

4-2-6 パワーユニットカバーを元通りに取り付けてください。

電装品（標準部品）

1. 散光式警光灯

詳細については散光式警光灯の取り扱い説明書を参照してください。

散光式警光灯



2. 電子サイレンアンプ（型式：SAP-520FBの場合）

詳細については電子サイレンアンプの取り扱い説明書を参照してください。

- 警光灯を点灯させます。
- 警鐘音、サイレン音を流します。



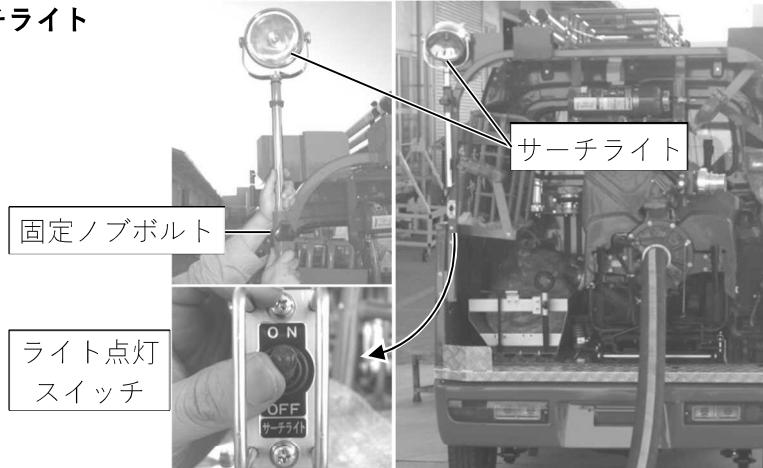
マイクロホンSDM-08/09

5 装備品

装備品

※装備品とその設置場所は、取り決め仕様により異なる場合があります。
本取り扱い説明書の装備品はそのうちの1例です。

・ サーチライト



使用時は固定ノブボルトを一旦緩め、任意の位置でノブボルトを締めて固定し使用してください。サーチライトは、上下・回転が可能ですので、都度調整してください。

使用後は、必ずサーチライトを下までさげて、固定ノブボルトでしっかりとサーチライトを固定してください。

5 装備品

・管鎗

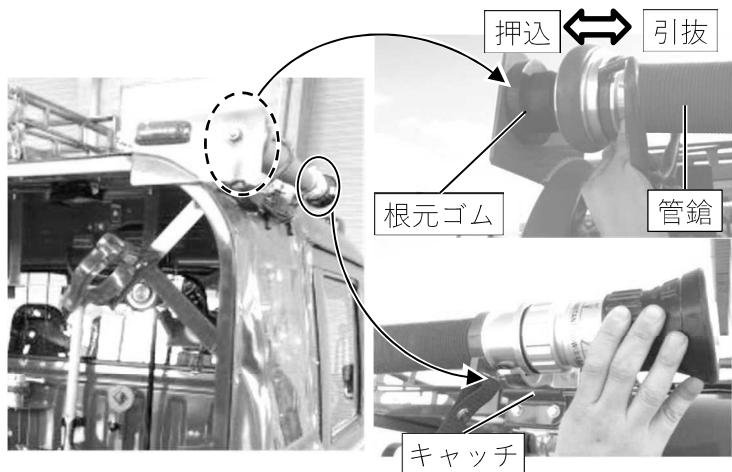
取り外しは、キャッチより管鎗を引き抜く様に外してください。

取り付けは、根元ゴムに管鎗を押し込み、キャッチに確実にはめてください。



警 告

装着がしっかりと固定されていないと、走行中に管鎗が外れる恐れがありますので確実に取り付けてください。

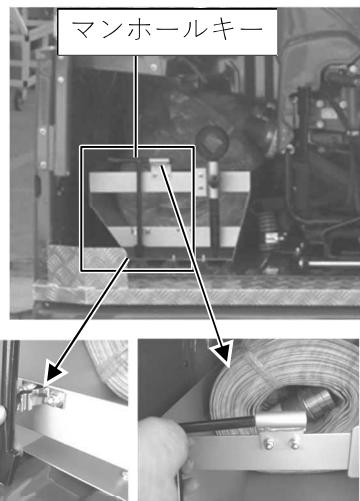


5 装備品

・ マンホールキー

マンホールキーの取り外しは、先端部から外し、次に持ち手部を外してください。

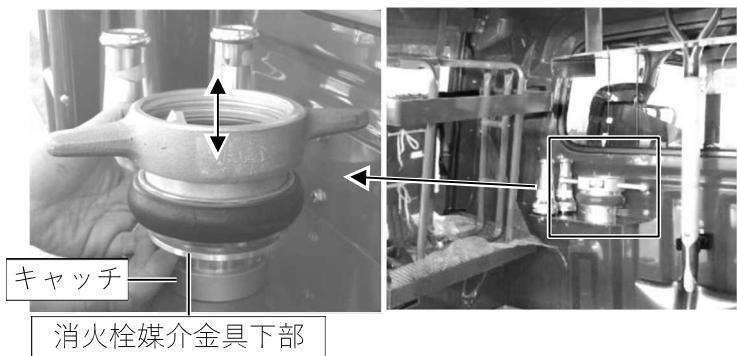
取り付けは、上記と逆の順序で行ってください。



・ 消火栓媒介金具

取り外しは、消火栓媒介金具の下部を引き上げた状態のまま、上に持ち上げる様に取り外してください。

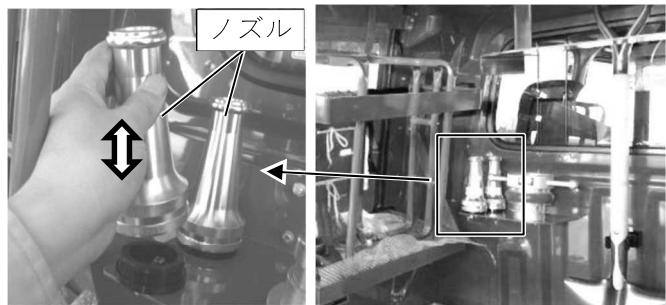
取り付けは、キャッチに確実に取り付けてください。



5 装備品

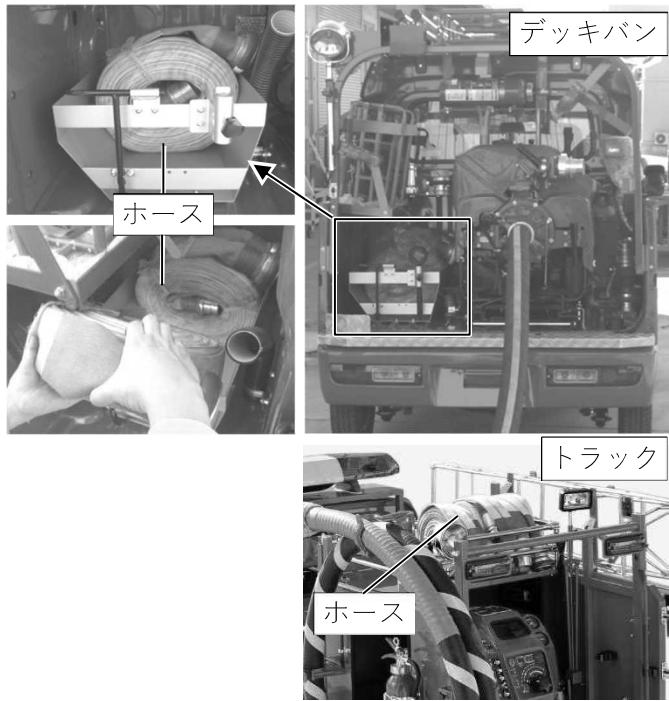
・ストレートノズル

取り付け、取り外しは、ノズルを回して行ってください。



・ホース

ホースを取り出す時は、手前のものから順に取り出してください。



5 装備品

・吸水管

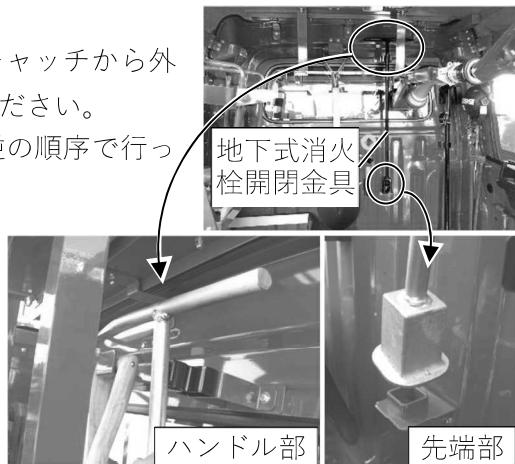
取り外しは留め具のロックを解除し、吸水管(ちりよけ管側)を取り外してください。次に吸水管固定用留め具から吸水管を外し、最後に吸水管（ポンプ取付口側）を取り外してください。取り付けは、上記と逆の順序で行ってください。



5 装備品

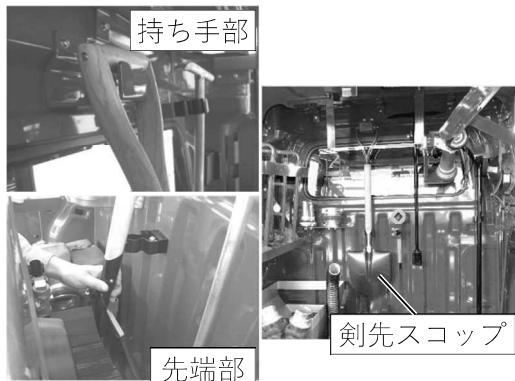
・ 地下式消火栓開閉金具

取り外しはハンドル部のキャッチから外し、次に先端部を外してください。
取り付けは、取り外しと逆の順序で行ってください。



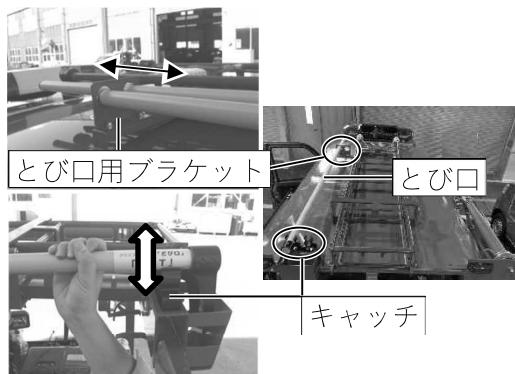
・ 剣先スコップ

取り外しは先端部のキャッチから外し、次に持ち手部を外してください。
取り付けは、上記と逆の順序で行ってください。



・ とび口

取り外しはキャッチより、とび口を持ち上げる様に外してください。次にとび口用ブラケットからとび口を引き抜いてください。
取り付けは取り外しと逆の順序で行ってください。



5 装備品

・ 梯子

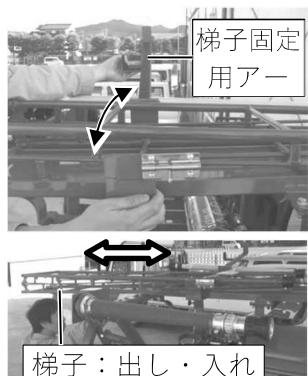
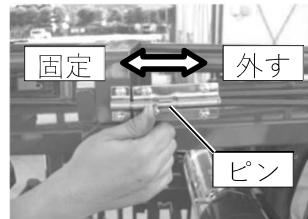
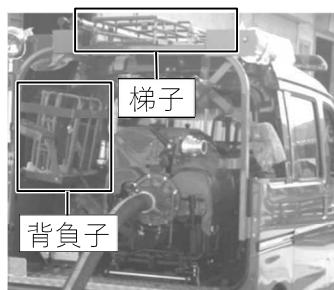
<デッキバン>

取り外しは梯子固定台のロックピンを外してください。

次に梯子固定用アームを持ち上げてください。

最後に梯子を引き出してください。

取り付けは、上記と逆の順序で行ってください。

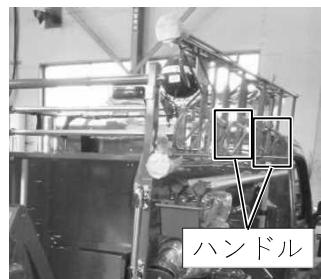


<トラック>

取り外しはハンドル部分を引き、その後回してロックを解除してください。

次に梯子の中心を押し上げて、梯子を取り出してください。

取り付けは上記と逆の順序で行ってください。



5 装備品

・ 背負子

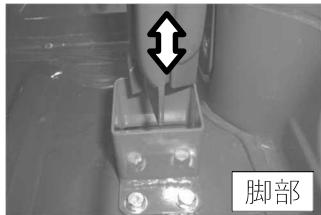
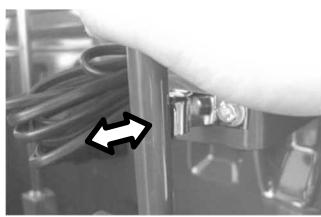
取り外しは固定バンドを外して上に持ち上げる様に外してください。(デッキバン)



・ 可搬消防ポンプ用投光器

取り外しは投光器上部のキャッチから外し、次に投光器脚部を外してください。

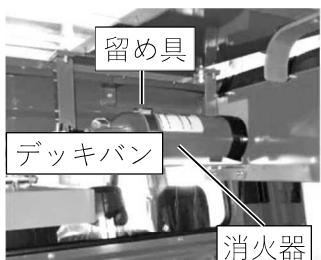
取り付けは、上記と逆の順序で行ってください。



・ 消火器(オプション)

消火器を取り外す際は、留め具での固定を解除し取り外してください。

取り付けは消火器取り付けブラケットに合わせ取り付けてください。消火器をきちんとブラケットに装着した後、留め具でしっかりと固定してください。



5 装備品

・ ヒューズ

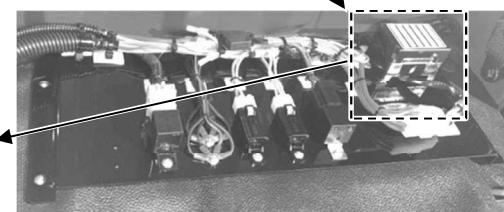
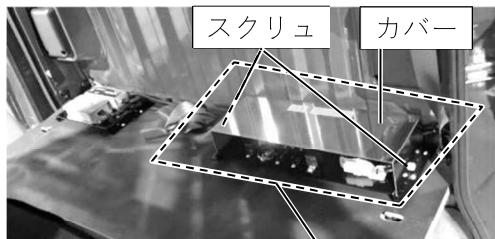
<デッキバン>

ヒューズボックスは後部座席の下にあります。

ヒューズ交換は、カバースクリュ（2個）を外し、カバーを外して行います。

各ヒューズ*

赤色回転灯	10A
電子サイレン	10A
標識灯	5A
サーチライト	5A



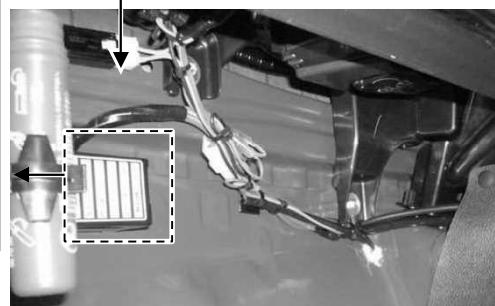
*装備電子装置によってヒューズのA（アンペア）は異なります。

<トラック>

ヒューズボックスは助手席側ダッシュボード下にあります。ヒューズ交換は、カバーを外して行います。

各ヒューズ*

赤色回転灯	10A
電子サイレン	10A
標識灯	5A
サーチライト	5A
赤色点滅灯	5A（オプション）
無線機	10A（オプション）



*装備電子装置によってヒューズのA（アンペア）は異なります。

[6] 注意点

始動前点検

消防車を使用する前に、散光式警光灯、電子サイレン、資機材等の各取扱説明書を確認してからご使用ください。

可搬消防ポンプに関しては、トーハツ可搬消防ポンプオーナーズマニュアルに従って点検してください。

- ・ 車両を止める場所は水平な場所にしてください。
- ・ 車両の駐車ブレーキが掛かっていることを確認する。
- ・ 車両に車輪止めをする。
- ・ ドレンバルブを全て閉じる。
- ・ 吸水管が水中にあることを確認する。
- ・ 放水ハンドルの全閉を確認する。

7 可搬消防ポンプの固定及び積載位置

1. 可搬消防ポンプの固定及び積載位置

1-1 可搬消防ポンプ及び積載レールの固定について

- ① 可搬消防ポンプを固定する際は、車両の揺れ等によりポンプのダンパラバーが接地面より浮かないようにしてください。また可搬消防ポンプが前後左右に移動しないように固定してください。
- ② 可搬消防ポンプ用の排気・排水、各種ドレンの位置を考慮し、干渉及び作業性の悪化が無い様に可搬消防ポンプ位置、固定金具位置を決めてください。
- ③ 車両運転中に路面の凹凸で車両が跳ねても可搬消防ポンプが積載レールのテーブルから動かない様に、可搬消防ポンプフレーム固定用フックを可搬消防ポンプフレームに掛けてください。
- ④ 車両運転（加速、減速等）中に積載レールが動かないように、レール固定ピンが正規の位置で収まるようにしてください。

▲ 注意

- ・ 可搬消防ポンプフレームに付いているダンパラバーは、可搬消防ポンプ運転中の振動を緩衝しますので外さないでください。
- ・ 可搬消防ポンプフレームを床面に固定する際はダンパラバーの緩衝効果が有るように固定してください。可搬消防ポンプの振動はフレームを伝わりダンパラバーで緩衝します。可搬消防ポンプフレームを床面に強固に固定した場合、振動の逃げ場が無くなり可搬消防ポンプ故障の原因になります。

7 可搬消防ポンプの固定及び積載位置

1-2 搬消防ポンプの積載位置について

- ・ 軽4WD トラック用の引出・昇降レールを使用の際は、レールに設定された固定位置にて可搬消防ポンプを積載してください。
- ・ 引出・昇降レールを使用して可搬消防ポンプを積載する場合は、レール本体、及び可搬消防ポンプ本体の移動の軌跡上に干渉物が無いよう注意してください。



警 告

軽4WD小型消防車走行中に吸水管、管鎗、とび口、梯子、スコップ等の取付資機材が脱落すると、人的・物的事故の危険があります。

取付資機材は確実に取り付けてください。また、取付装置の機能が低下している場合は資機材を取付けず、速やかに取付装置を修理（もしくは交換）してください。

2. その他

可搬消防ポンプ積載運転は、河川・貯水槽・消火栓等を水利とし、可搬消防ポンプを車両に積載したまま直接運転する必要がある場合に行います。可搬消防ポンプの運転についての詳細は、「トーハツ可搬消防ポンプオーナーズマニュアル」を参照して下さい。



注 意

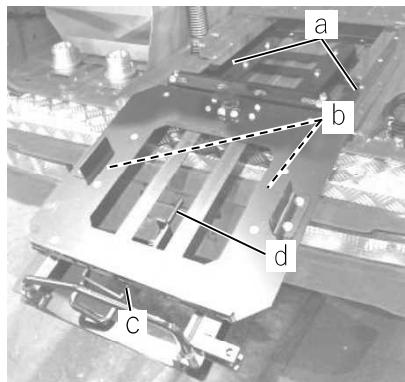
- ・ マフラのテールパイプの向きに注意してください。
- ・ 吸水時のバキュームポンプから出てきた水を排水するホースがしっかりと車外への排水誘導管へ挿入されている事を確認してください。
- ・ 摺動レールの固定、ポンプ積載テーブルにポンプがしっかりと固定されている事を確認してください。

8 日常の保守

積載装置は摺動、回転、上下運動等の機構部品より構成されていますので、洗浄及びグリス塗布等が必要です。以下の保守を行ってください。

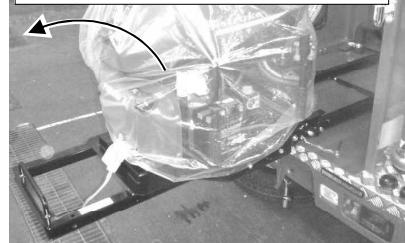
- ① 可動レールを引出して可搬消防ポンプを取り外してください。
- ② 車の荷台、固定レール、可動レール、ポンプテーブル及びこれらの取付部品を清掃してください。
- ③ 次の部分にグリスを塗布してください。
 - 固定レールの可動レールとの摺動部
 - 可動レールの固定テーブルとのローラ摺動部
 - ポンプロックハンドルの摺動部とスプリング
 - テーブルロックレバーの摺動部とスプリング
 - 付属品取付装置
 - 吸管金具、管鎗ハサミ、キャッチ等

傾斜式レール



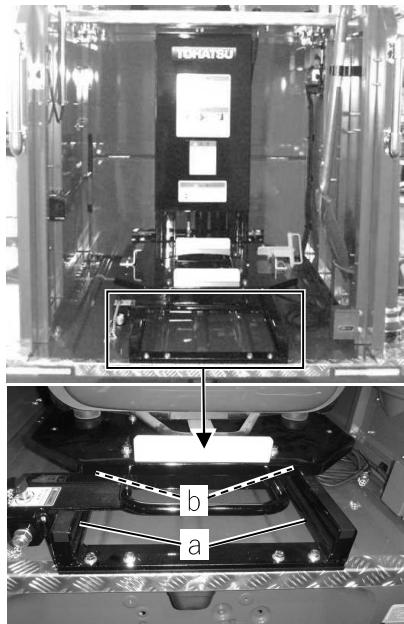
可搬消防ポンプは取り外して
作業を行ってください

水平式レール



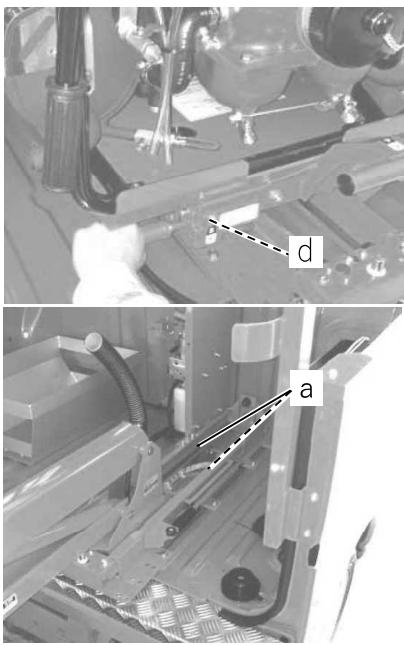
8 日常の保守

リフト
手動装置 THL-1B



リフト
電動油圧装置 TWL-2A

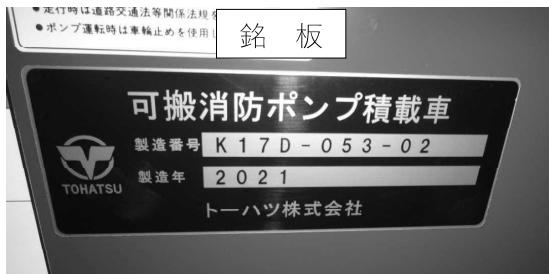
引出ロック解除レバー



9 識別

消防車艤装側部分で故障・不調等が発生した場合は、銘板名、区町村名等を販売店へご連絡してください。

- ① 製造年
- ② ポンプ型式
- ③ 製造番号



デッキバン



トラック



OWNER'S MANUAL

デッキバンタイプ
トラックタイプ

OWNER'S
MANUAL

No.003-12095-0

トーハツ株式会社

〒174-0051

東京都板橋区小豆沢 3-5-4

Tel: 03-3966-3115